地区スローガン：「 Love Other Spirit ～繋ごう次世代へ 夢ある未来に向けて～ 」

クラブ方針：「 豊かな心を持とう! 今こそ『絆』」

国際ロータリー第2790地区 第３グループ

千葉西ロータリークラブ

Rotary Club of Chiba-West

WEEKLY COMMUNICATION

創　立　1976年1月20日　　承　認　1976年2月25日
会　長　今 野 文 明　　幹　事　本 橋 和 也
例会場　千葉スカイウインドウズ 東天紅　センシティタワー23階
TEL 043-238-5555
例会日　毎週火曜日 12:30～
事務局　千葉市中央区新田町12-1　トーシン千葉ビル7階
TEL 043-245-3202　FAX 043-245-7522
E-mail：chibawestrc@wrpc.co.jp
URL：https://www.chibawest-rc.net/

■ 会長挨拶 / 今野文明 会長

会 員 の 皆 様 へ

立春とは名ばかりでまだまだ寒い日が続いておりますが、そんな中、世の中は連日のように「コロナの感染者が過去最多を更新」とニュース、メディア等で報道され耳をふさぎたくなるような日々が続いておりますが、この難局をともに皆で力を合わせて乗り越えていくしかないと考えています。

新型コロナウィルスの感染は昨年９月末の緊急事態宣言の解除後、いったん落ち着いていましたが、新たなオミクロン株の影響によりこれまでにないペースで感染が拡大しています。重症化リスクが高くないという報告もありますが、決して油断することなく感染しうるという警戒感を持ち、先ずは自分達の出来ることから、換気の徹底をはじめ、不織布マスクの確実な装着、密になる時間や場所を避ける、手洗い消毒など基本的な対策の実施などを確実に行っていきたいと考えています。

年当初の理事会で例会変更．中止．延期につきましては、会長一任の承認を頂き、先日の PS 会でも会長一任のお言葉を頂いておりましたが、皆様へのご連絡が遅くなり申し訳ありません。

新型コロナウィルス感染の急拡大を受け、緊急事態宣言と同格と判断し、まん延防止等重点措置発令中の 2 月 1 日の例会を取消及びプログラムの延期とさせて頂きます。

武田逸郎会員、川﨑美嘉子会員の新入会員卓話を楽しみにしておりましたが残念です。近いうちに実現したいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

今後は、まん延防止等重点措置が解除されるか、延期になるか、緊急事態宣言に移行されるのか、動向を見守り判断させて頂き皆様に通知させて頂きます。

会員の皆様に於かれましては、くれぐれもご自愛して頂き、元気に例会でお会い出来ることを楽しみにしております。

ご理解の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

■ 2022-23 年度 国際ロータリー会長 ジェニファー E. ジョーンズ 氏　プロフィール

カナダ、オンタリオ州、Windsor-Roseland ロータリークラブ

ウィンザーにある Media Street Productions Inc. の創業者兼社長。ウィンザー大学の理事長、ウィンザー・エセックス地域商工会議所の会頭を務めたほか、その奉仕活動が称えられ、YMCA Peace Medallion、Queen's Diamond Jubilee Medal を受勲し、カナダ人初のウェイン州立大学 Pecemaker of the Year Award を受賞しました。また、法学の博士号（LL.D.）を有しています。

女性初の会長に選出されるにあたり、ジョーンズ氏はロータリーの「多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）に関する声明」の重要性を理解しています。「多様性、公平さ、インクルージョンを最優先し、女性会員や 40 歳未満の会員を増やすには、まずリーダー陣がこれを実践し、そのメンバー構成に反映させていく必要があります」とジョーンズ氏。「どちらの目標でも 2 桁の成長を目指し、決してロータリーファミリー全体を見失わないようにします」

ジョーンズ氏は 1997 年にロータリーに入会し、RI 副会長、理事、研修リーダー、委員会委員長、モデレーター、地区ガバナーを歴任しました。また、ロータリー強化諮問グループ委員長を務め、ロータリーのブランド活性化の取り組みでリーダー的役割を担いました。現在は、ポリオ根絶活動のために 1 億 5000 万ドルのファンドレイジングを目指す、「End Polio Now：歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会」の共同委員長を務めています。2020 年には、新型コロナウイルス対応のためのファンドレイジングを目的としたテレソン（# ロータリーによる対応）を先導。このイベントは 65,000 人以上が視聴しました。

ジョーンズ氏は超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞しているほか、夫のニック・クラヤシッチさんと共に、アーチ・クランフ・ソサエティ、ポール・ハリス・ソサエティ、ロータリー財団遺贈友の会の会員となっています。

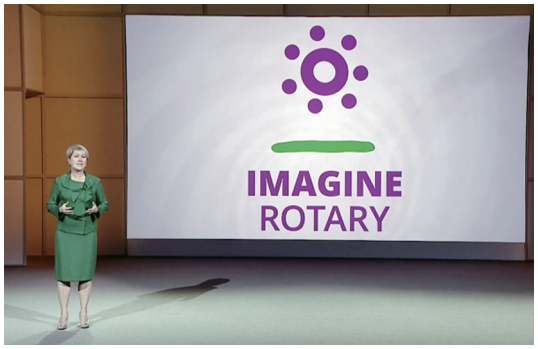
■『ロータリーの友』電子版

https://www.rotary-no-tomo.jp/digital/db/rotarynotomo.php

■ 国際ロータリー第 2790 地区　月信

https://www.rid2790.jp/2021/governor/monthly.html

■ 2022-23 年度テーマ講演　RI 会長エレクト ジェニファー・ジョーンズ



8 月 14 日、私はニックとともに、国際ロータリー世界本部と今後 2 年間の私たちの新居があるイリノイ州エバンストンに向かいました。

告白しますが、やっと会長エレクト室に座れることが嬉しくて仕方がありませんでした。長年、私が尊敬のまなざしを向けてきたこの空間で仕事ができるのですから。自宅のダイニングテーブル以外の場所で仕事ができるのも嬉しいことでした。

最初の週、あるロータリアンから朝に個人的なメッセージが届きました。そこにはこう書かれていました。「私のことを覚えておられるでしょうか。ハンブルグでお会いした者です。私のクラブでお話しいただきました」

無理を承知でお願いしたいことがある、とその方は続けました。そのクラブと関係のある奨学生で平和活動家である若い女性が、アフガニスタンのカブールにおり、今、危険にさらされている。自分にできることはないか。国外避難できるよう飛行機に乗せてあげることはできないか。スマートフォンは没収され、彼女はプライベートなネットワークを使って電話の発信源がわからないようにしている、というのです。

何千もの人がカブール空港を飛び立つ飛行機に必死に押し寄せる姿は、記憶に新しいと思います。

快適な新しいオフィスの大きなデスクに向かって座っていた私は、急に自分がちっぽけに感じました。自分は何者なのか？一体自分に何ができるだろうか？

数年前、次期国際ロータリー理事であるパット・メリーウェザーさんから、一人の平和フェローを紹介されました。そのフェローは、このような状況下で影響力を発揮できそうな立場にいました。今度は私が、無理を承知でお願いする番です。

その人に連絡してみたところ、私たちの誰もがよく知る「ロータリーの不思議な力」（Rotary magic）が働きました。

この話のヒーローは、このロータリー平和フェローです。実際に何がどうなったのかわかりませんが、24 時間も経たないうちに、この若い女性は避難者リストに加えられました。その二日後、彼女は無事にヨーロッパに向かっているということを知りました。

飛行機が飛び立ったときの彼女の気持ちを想像してみください。

これこそ、ロータリーの力です。強力な人脈ができることで、世界がつながり、それぞれの人のストーリーが結びつきます。互いの違いはなくなり、インパクトをもたらすうえでの唯一の限界は、想像力の欠如です。

2014 年 11 月 9 日のことです。ニックと私は、ベルリンのホテルの屋上で、100 万人がいる街を見下ろしていました。その日は、ベルリンの壁崩壊、つまり冷戦の終結から 25 周年を街中が祝っていました。

その日の日中、ホルガー（クナーク）元会長が主催した行事で、私はタチアナ・ジュリーという女性と出会いました。その 25 年前、彼女は東ベルリンの若きラジオレポーターでした。

彼女はこう話しました。「何が起こっているのかわかりませんでした。局長はノイローゼ状態で、私はどうしていいのかわかりませんでした」

そこで彼女は、テープレコーダーを手に外へ出ました。なぜなら、彼女いわく、「歴史をつかみたければ、実際につかまなければならない」からです。

そこで彼女が見たのは、東側と西側を行きかう何千もの人たちでした。人びとは壁を崩そうとしていました。ニュースルームに戻った彼女は、記事を書きあげました。

タチアナさんからこの話を聞きながら、つながりが再びその不思議な力を発揮しました。

それと同じ日、新米レポーターだった私は、カナダのウィンザーにあるニュースルームに一人でいました。そのとき、世界で何か重大なことが起きたことを知らせるアラームが鳴り響きました。古いニュースワイヤーの機械のところに走っていき、ベルリンの壁崩壊のニュースを読みました。冷戦が終わろうとしていたのです。

タチアナさんと同じように、私もどうしてよいかわかりませんでした。しかし、それが歴史的な出来事であることはわかりました。「歴史をつかみたければ、実際につかまなければならない」。私はニュースブースに行き、その素晴らしいニュースを伝えました。

想像してください、4000 マイル以上離れた私たち二人が、世界を変えるほどの経験を共有していたのです。

その 25 年後に出会ったタチアナさんと私は、ともに涙を流しました。あの時に私が読んだニュースがタチアナさんのものだったかわかりませんが、そうであったと信じます。

このような共通の経験をもって初めて、理解を通じて世界平和をつくり出すことができます。その世界は、私たちが公平さ、人権、地域社会のリソースの公平な配分に力を尽くしてこそ実現できるのです。私たちがよく知る言葉でいえば、「みんなに公平か」です。

ロータリーに多様性、公平さ、インクルージョンを取り入れる努力において、インクルージョンのカギとなるのは、障壁を取り除くことです。そしてインクルージョンこそが、会員増強のカギとなります。

これは新しい取り組みのように聞こえるかもしれませんが、新しい考え方ではありません。1933 年の第 24 回国際大会での、ロータリー創設者ポール・ハリスの肉声をお聞きください：

> ロータリーは、あらゆる職業や地位、あらゆる国、あらゆる形式の宗教の人たちに開かれています。（中略）ロータリーの才知と栄光は、まさにここにあります。（中略）ロータリアンは多くの点で異なる者同士ですが、二つの点で完璧に調和しています」

私たちはみな、完璧に調和しています

数年前、私はアメリカのテレビ番組でインタビューを受けました。収録の直前、司会者が驚くようなことを言いました：30 年来のロータリアンであった彼は、最近になってやっと「ロータリーが理解できた」と言うのです。

彼は、地元地域で子どもたちにコートを届けるプロジェクトに参加しました。その時に初めて、すべてが腑に落ちました。奉仕の力を目のあたりにした彼は、本当の意味で参加するようになり、クラブ会長も務めました。

想像してください。彼は、「ロータリーを理解する」までに 1,500 回以上の例会に出席したのです。

このことから何を学ぶことができるでしょうか。
会員の参加を促さなければならない、ということです。
私が住むウィンザー市は、カナダの自動車産業の中心地です。私は、自動車修理工場についてもよく知っていますし、市場の競争が激しい環境で育ちました。そこでは、うまく行っていないことがあれば、設備を新しくしました。新しい部品やモデル改良の準備のために、数カ月間、工場を操業停止することもありました。
ここ数十年は、競争的な市場のために工場が閉鎖されるなど、厳しい時でした。数万人が職を失いました。
このような状況になったら何ができるでしょうか。適応することです。時間がかかりましたが、私たちの地域は今、農業関連産業と、医療や宇宙航空技術の分野で世界的にリードしています。
私たちも適応し、改革しなければなりません。各会員の参加を促すための適切な”部品”を見つけることを、私たちの中心的な役割とすべきです。詰まるところ、大切なのは会員にとっての心地よさと配慮です。
数年前、友人のブロンウィン・スティーブンスさんが、メルボルンにある学校に私を連れて行ってくれました。私はそこで、ピーターという若いインターアクターに出会いました。彼はこう言いました。「責任ある子どもが必要なら、責任を与えるべきです」
ピーター君は重要な点を見抜いていました。ロータリーへの入会者を見つけることは、問題なくできています。苦労しているのは、会員の維持です。世界の全地域で、回転ドア式（つまり、入っては出るの繰り返し）になっています。
会員がロータリーでどんな経験を求めているかを聞き、果たしがいのある責任を会員に与える必要があります。
ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的意識と熱意を生み出します。これが私たちの責任です。会員に奉仕できなければ、地域社会への奉仕もできません。会員にとって心地よい場所とし、会員への気配りがなければ、ロータリーの力を本当の意味で理解してもらうことはできないでしょう。
私が言う「会員」とは、ロータリーとローターアクトを意味しています。私たちはみな、ロータリー会員です。
私たちは、この素晴らしい組織のリーダーとしての役割を委ねられました。私たちは今、果敢に、目的意識をもって行動し、リーダーシップを発揮できるかどうかが問われています。
7 月 1 日から、一人のローターアクターをロータリー公共イメージコーディネーターに任命したことを皆さまにお知らせします。また、いくつかの委員会にローターアクターを正式に含め、次年度には数名のローターアクターを会長代理にも任命する予定です。
シェカール（メータ）会長は昨年、「女児のエンパワメント」のイニシアチブを立ち上げ、それが世界中で受け入れられてきました。エンパワメントされた女児はエンパワメントされる女性になる、ということを認識して、私たちはこの果敢な取り組みを続けていきます。
ロータリーでの女性の割合を 30%にするという、理事会が定めた目標の達成期日まで、あと 1 年半を切りました。ここまで進展が見られ、110 カ国以上で既にこの目標が達成されています。とはいえ、まだまだ先は長いのです。30%は 50%への足がかりにすぎません。ご存知の通り、ローターアクトはこれを既に達成しています。
異なるユニークな新クラブ、特に新しいクラブモデルを受け入れることは、ロータリーの成長に不可欠です。私は、皆さまのお力添えを必要としています。ガバナー年度には、皆さま一人ひとりに、革新的クラブまたは活動分野に基づくクラブを少なくとも二つ設立するために助力していただきたいのです。
そして、おそらく最も大切なのは、心地よさと配慮の哲学を、これらの新クラブに、また既存のクラブにも浸透させることです。クラブとロータリーでの体験に満足してもらえるように、会員が積極的に参加できるようにしましょう。
ロータリーの改革に内側から取り組む一方で、ロータリーの存在感を増すことにも特別な重点を置き、ロータリーがもたらしたインパクトを称えるために私が世界各地を訪問します。
ソートリーダー（思想的リーダー）や世界のリーダーとの対話を積極的に行い、世界の最も差し迫った課題に取り組む方法について話し合います。
ロータリーは、こうした機会をつくり、つながりを生かして協力関係を深め、新たなパートナーシップを構築していく必要があります。ロータリーでは、それをあらゆるレベルで行うことができます。
私たちは、ロータリーの奉仕と価値観が自分たちにもたらす影響を感じています。今こそ、この感覚を人びとと共有する時です。
韓国でのロータリー会合に出席したときのことです。韓国語はわかりませんでしたが、そこにいた全員が一斉に同じ言葉を唱え始めました。それは素晴らしい瞬間でした。その歯切れのよいリズムから、私はそれが「四つのテスト」だとすぐにわかりました。
自分が慣れ親しんでいることに触れたその瞬間、私はある種の心地よさを感じました。私たちの中核的価値観、伝統、遺産は、私たちが信じ、大切にしている力強いものです。また、今まで以上の存在になるために何ができるかを想像しながら、さらに築き上げていくものでもあります。
50 年前、次のような美しい歌詞を含む曲がレコーディングされました：
君は僕を夢想家だというかもしれない
でも僕一人ではないさ
この歌詞は、行動への呼びかけだと私はとらえます。私たちには皆、夢があります。しかし、そのために行動するかどうかを決めるのは私たちです。ロータリーのような団体がポリオの根絶や平和の実現といった大きな夢を抱くなら、それを実現させる責任は自分たちにあります。
想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。昨日のことをイマジン（想像）する人はいません。それは未来を描くことです。
ポリオのない世界を想像してください。
みんなが安全な水を使える世界を想像してください。
疾病のない世界、すべての子どもが読むことのできる世界を想像してください。
やさしさ、希望、愛、平和を想像してください。
だからこそ、「イマジン ロータリー」がテーマとなります。

Imagina Rotary.
Imaginons le Rotary.
Immagina il Rotary.
イマジン・ロータリー
상상하라로타리
Imagine O Rotary.
想像扶輪
これがすべての言語で重要な意味をもつことを願っています。

ブロードウェイミュージカルの『レント』（Rent）という作品の歌に、素敵な一節があります：

52 万 5600 分 人生の中で 1 年をどうやって測ればよいだろう

この作品を知っている方もいるかもしれません。または、この作品にインスピレーションを与えたプッチーニの『ラ・ボエーム』を知っている方もいるでしょう。

現ガバナーのミシェル・ボリアーさんは最近、私たち一人ひとりが同じ時間を与えられていることについて考えるよう呼びかけました。大切なのは、その時間をどう生きることを選択するか、ということです。

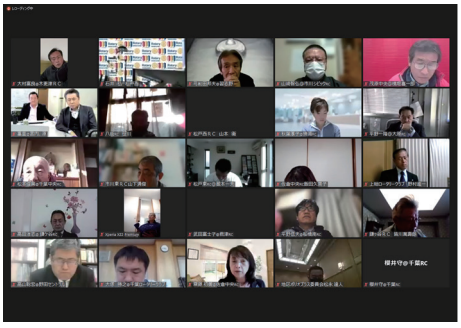
7 月 1 日に、時計が動きだします。皆さんは、この時間をどう使いますか。

■ クラブ運営と歴代会長幹事会の役割について（その1）　代表世話人　海寶勘一

会員の皆さまがご承知のように、各クラブには世界共通の「標準クラブ定款」があり、その基本的な決まり事に倣って自クラブの自主的な「クラブ細則」が決まり、主たる日々のロータリー組織や活動の目的と心がけが事細かく定められています。世界中のロータリークラブメンバーは、委員会組織構成やクラブの目的から始まり、我々ロータリアンが目指す奉仕活動の心構えが明記されている「標準クラブ定款」や「クラブ細則」に沿って、様々なロータリアンらしい活動の指針としています。組織規定である「標準クラブ定款」は三年に一度見直しの機会として「規定審議会」があり、今年の 4 月に全世界の地区代表議員がアメリカのシカゴに集まり審議されます。その組織規定の骨格はクラブ奉仕から始まり、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の五大奉仕活動が基本になりクラブ運営の根幹になっています。クラブでは当年度の会長が五大奉仕に沿った様々な委員会を組織して、私たち会員は日常の親睦を密にしながら毎年度の会長方針に沿って、それぞれの委員会活動の経験を積み増して、クラブ組織や運営に慣れ親しんでいます。一人一人の会員がクラブ運営や委員会活動を熱心に参加する究極の目的は、己の自己形成を豊かにさせることにあります。常に思い遣り深い心をもって他の人の為に尽くしてあげることの出来る職業人として、真のロータリアンとして仲間との親睦を深めて会員同士が自己成長させています。世の為に奉仕する意義こそ価値があります、毎年度様々な委員会活動を経験することで、やがてクラブ運営の中核となるクラブ役員や、理事会メンバーとして委員会委員長の重責を担う心構えができてきます。意欲をもつ心構えと適応力をもって、その年度年度の会長方針に沿った活発な委員会活動に参加することは喜びと感動につながります。日本のロータリークラブ創立に尽力された、東京クラブ初代会長である米山梅吉翁は、「クラブ例会はお互いを磨き合う人生道場である」と表現され、例会時の和やかで尊敬しあう絆の大切さと親睦の輪の重要性を説いてくれました。クラブでは個性豊かな会員がそれぞれの役目を担って、お互いに友情の絆を強めながら、和をもってクラブ運営に参画していますが、役員理事の任期は単年度制が基本になっています。必然的に当年度の会長と幹事が主になって、任されたクラブ運営と活動に専念し、クラブの歴史を積み重ねていますが、当クラブも来る 2025 年度には記念すべき創立 50 周年を迎えることができます。その時には 50 周年に相応しいクラブ創立記念式典を開催する計画を立てて、今からその準備を進める必要があります。その為にも今こそ、会員皆さまが心を一つにして、更なる友愛を深めて誇り高いクラブを目指し、今野会長方針である、「豊かな心を持とう!今こそ絆」を一層実践させたいものです。

■ 2022−23 年度 国際ロータリー 2790 地区 補助金管理セミナー

1 月29日（土）13時点鐘にて開催されました。まん延防止等重点措置が発出されているため、感染防止に伴い Zoom 主体に変更されましたが、会場と Zoom 合わせて約200人のロータリアンが参加されました。



千葉西ロータリークラブ	総数	本日の出欠席	出席	前々回の修正	メーキャップ	本日の出席率	ニコニコBOX	本日の合計	次週プログラム
	48 名		0 名		0 名	0 %		0 円	■ 次週プログラム
	対象者		欠席		欠席	前々回の出席率		本年度累計	2月8日（火）
	48 名		0 名		9 名	78.57 %		695,000 円	まん延防止等重点措置
									新型コロナウィルス感染急拡大をうけ例会取消

クラブ広報・ロータリー情報委員会　【委員長】桜井隆宏　【副委員長】海寶勘一　*高橋健一郎　【委員】嶋田　悠　*野城隆憲　*北村悠介　*中村武弘　*川﨑美嘉子

※ 千葉西ロータリークラブ WEEKLY COMMUNICATIONは SNSやWebに掲載されます